

## 副詞「なんなら」の新用法 —なんなら論文一本書けるくらい違う—

島田 泰子

### はじめに

本稿は、研究対象として現代語の問題（現象）を取り上げつつも、「日本語史」研究の一端をなすものである。このような立場の表明は、過去に（歴史上のある時点で）日本語に起こった言語変化も、現在進行中の変化も、等しく総体としての「日本語の歴史」を形成するものである、という稿者の一貫した理念（島田 2014:38）に基づく。新語と並んで、従来の意味用法から外れる新用法は、日本語の歴史的变化の突端と位置付けられ得る場合も多いからである。

そのような観点から見た「今日的な動向をいち早く捉え記述すること」の意義については、既に別稿において以下のように述べた。

変化の発端を担う当事者としての若年層は、それが最先端の変化であることについて自覚的でない場合もまた多い。ある語や表現について、その意味・用法が変化しつつあると気付く（つまり「そのような使い方は以前にはなかった（はずだ）」と実感する）のは、旧来の使い方を知らない若年層には困難なことであり、当然、「新用法」と称される現象の発生は、旧来の用法を知る中高年層において、特に気付かれやすい問題となる。〈中略〉少なくとも発端としての、現象への気付きやいち早い指摘といった問題提起については、中高年層（の研究者）が自覚的に、積極的に担わざるを得ない。

（島田 2014:38-39）

## 2 副詞「なんなら」の新用法

しかしながら、その手の研究には、資料論的な面を含めた困難や課題も同時に存在する。同じく別稿において指摘したとおり、新用法の非当事者として変化の突端を捉える役割を担うべき中高年層（の、特に研究者）が、どこまで若年層における日本語使用の生々しい実態に立ち会えるか、という問題である。

若年層における最先端の変化は、旧来の言語規範にのっとりた推敲や校正を経て世に出る類の資料には現れづらい。口頭の発話においても、目上の相手など聞き手との関係性によっては、よそ行きにかしこまったもの言いがなされることで、先端的な変化の動向は観察されにくくなる。当然のこととして、若年層における先端的な変化（の、水面下における動向）は、アンダーグラウンドな媒体や内輪向けの発信など位相を限って行われはじめる傾向にある。新しい世代による新しい意味・用法や表現様式が、俗語やいわゆる若者ことばなどといった、規範性から自由に発せられたもの言いにおいて散々多用されたのちに、書きことばなどのより公的な資料・文脈にまで顔を出すようになった頃には、それらはすでにある程度の一般化や定着が進んでいる<sup>\*1</sup>。使われ始めから時間的にも隔たりが生じてしまえば、変化の発端や経緯などは辿りづらくなる。

（島田 2014:38）

こういったいわゆる気付かれない・気付かれにくい言語変化の兆候を捉え記述するというねらいのもと、本稿では、副詞的に用いられる複合語「なんなら」の意味用法を取り上げる。控えめな申し出や提案などの場面に用いられる旧来の用法に対し、近年、大きく異なる使用例がしばしば観察されるようになり、少なくとも量的にはある世代においては一般化も進んでいるように見受けられるからである。あえて置き換えるなら「あまつさえ」「ヘタすると」「言わせてもらえば」などの語句に相当しそうな、若年層を中心とした新たな用法ついて、使用の実態を報告するとともに、旧来の用法とのつながりや異なりについても分析を試みる。

## 1. 従来の用法

「何（なん）」に助動詞「なり」の未然形「なら」が接続した「なんなら」は、日本国語大辞典（第二版）の記述に従えば、以下の2つの用法を持つ。

- ① 相手の意志・希望にかなうかどうかを、うかがう気持ちを表す。もしよければ。都合によっては。
- ② 相手の意志・希望にかなわないことを仮定する気持ちを表す。お気に召さないなら。駄目でしたら。

日本国語大辞典では、①②ともに近世末期の戯作や明治期の小説（いずれもセリフ部分）から用例が示されており、この頃から用いられはじめた口頭語的な表現と見られる。

①が「もし差支えなければ」という前置き、②が「もし差し支えるようなら」という前置きである点で、両者は区分され対比的に項目立てられているが、これに後続する内容が話し手自らの行為についての「申し出」か、それとも聞き手の行為についての「示唆・提案」かという分類は特段なされておらず、その点ではやや粗い分類と言える。

試みに国立国語研究所の「現代日本語書き言葉均衡コーパス」（BCCWJ）で「なんなら」を検索したところ、全99例がヒットし、それらは以下の5種に分類できた\*2。ここでは、aの「申し出」とbの「示唆・提案」とが量的に拮抗する状況となっている。

### a. 申し出 49例

なんなら～しようか／～てもいい／～してやろう（動作主は話し手）

### b. 示唆・提案 41例

なんなら～したらどうだ／～してごらん／～するといい（動作主は聞き手）

### c. 依頼・注文 3例

なんなら～してくれ（ないか）（動作主は聞き手）

#### 4 副詞「なんなら」の新用法

##### d. 妥協点の提示 1例

なんなら～でもいい（動作主が話し手・聞き手、その他）

##### e. 願望 2例

なんなら～たい（動作主は話し手）

これらのことから、「話し手または聞き手が行う何らかの行為について控えめに言及する場面で、前置きとして用いる」のが、従来の「なんなら」の主たる用法とすることになろう。従来の用法から「なんなら」の意味を取り出すなら、a～eいずれの場合も

I 差し支えなければ・あなたさえよかったら（聞き手の意向次第という含意）

II 可能ならば・場合によっては（それ以外の状況的な前提次第という含意）

のどちらかになろう。つまり従来の意味用法は、以下のように説明される。

いずれも

I' 何（あなたの意向）が 何（OK）なら

II' 何（状況的な前提）が 何（ゆるす）なら

という条件節的構造を本来は備えつつ、それぞれの後半を不定の「何」に置き換えて述べるものであって、聞き手の意向を含めた状況的な前提のもとで主節該当部分を述べる条件句として成立している。条件節的構造の前半部分の省略と、後半部分の「何」への置き換えによって、ある種の和らげやぼかしの働きが生じ、行為への「控えめ」な言及という効果がもたらされる。行為の主（動作主）が話し手か聞き手かによって意味はaかbになり、cはbのさらに強い表現として位置付けられ、dはaとcの両方にまたがる領域を担うと考えられる（eについては、やや消極的なdを、より積極的に強く希求するものと見られるが、詳しくは後述する）。それらの全体を覆うものが「なんなら」の意味用法であると言えよう。

以上を踏まえ、次に新用法について検討を加えることとする。

## 2. 近年の新用法（用例）

前節で確認したような旧来の用法に対し、近年さかんに観察される新用法は、以下のようなものである。まずはここ数年の用例として、2014年以降の（日付が確認出来る）ものを、2017年8月末までに採集できた中から日付順にいくつか示す。以下、先のa～dとは明らかに異なるものに加えて、eに該当するものも示す（用法上a～dと密接な関連を持つと考えられるためである。詳しくは後述）。

（web上で得られた用例を含め、出典の表示について、凡例は以下のとおり。）

〔 〕 = サイト名、〈 〉 = 記事タイトル・番組タイトル、〈中略〉は稿者によるもの、／は改行を稿者が削除した箇所。なお、ブログタイトル等の文字列コードを含む長大な出典urlについては、Google URL Shortenerによる短縮urlを示す。）

### (1) ゲームレビュー系個人ブログ〔俺ビュー〕

〈【日記】なんなら 1週間ぐらいアナログゲームしかしてなくても大丈夫と思います〉 2014.2.25 <http://taitou.blog50.fc2.com/blog-entry-1370.html?sp>

(2) TBS ラジオ『ライムスター宇多丸のウイークエンドシャッフル』 2014.5.3 放送分「サタデーナイトラボ」〈宇多丸×三宅隆太監督「ぶっちゃけ6も好き、なんなら7も好き」特集〉 <https://www.youtube.com/watch?v=in6n1pya-Ts>

(3) [DMM 英会話 BLOG] 〈活躍する人たち／ダンサー FISHBOY さんインタビュー〉 2015.07.16

最後のコメントを英語で言わないといけなくて、／その最後で〈中略〉全員凍りついてしまって…。／僕は全く何が起きているか気づいていなくて、／なんならむしろ、自分ではよく聞き取れたな、／くらいに思ってたんで自信満々で何度も“No No.”って言ってたんです（笑） <http://eikaiwa.dmm.com/blog/13078/>

6 副詞「なんなら」の新用法

(4) 艦隊これくしょんまとめブログ [電これ] 2016.6.25

〈【艦これ】黒い艦これをアニメ化してほしい なんなら円盤全部買う勢い〉

<http://kantai-collection.com/archives/47865897.html>

(5) はてぶ [おっさんアラサー女の欲まみれの戯言集]

〈ポケモンをやらなかった 30 歳女が、ポケモン GO を想う理由〉 2016.7.28

兄貴がプレイ中、私は横にちょこんと座り、その様子を見て一緒にプレイしている気分になっていた。／しかし、〈中略〉画面が小さく、兄貴がプレイしていても私はその様子を見ることはできない。〈中略〉かといって、小学生だった兄貴がハマっているゲームを幼い妹に貸すという配慮をできるわけでもなく。(なんなら当時流行していたガチャガチャのレアアイテムを奪っていくような鬼畜だった)／そして両親が、二つ目のプレイ機器を買ってくれるわけでもない。

<http://womankind.hatenablog.jp/entry/2016/07/28/200318>

(6) [Medium] Toru Furukawa 2016.11.27

ソフトウェア開発の仕事を請けるとき、すぐに開発を始められるような仕様が提示されることは、ほとんどない。発注側がそんなものを用意できるなら、私に依頼せずに、クラウドソーシングを使うほうが費用対効果が高い。仕様を策定するのも込みで、なんなら要件を発掘するところも含めて、仕事が依頼される。

[goo.gl/j5szcS](https://goo.gl/j5szcS)

(7) fb エントリ [燻製居酒屋いぶし仲町 - 旧鳥っぷ] 2016.12.7<sup>\*3</sup>

もう 12 月っすねー／なんなら 7 日も経っちゃってますがな

<https://www.facebook.com/trip20141101/posts/1298108100254108:0>

(8) ツイートまとめサイト [Togetter] 〈トランプ大統領を見ていると何かに似ている…そうだ、厚揚げだ「なんなら厚揚げの『厚』って字にも割と似てる〉

2017.1.27 <https://togetter.com/li/1074892>

(9) プレスリリース・ニュースリリース配信サービスの [PR TIMES]

〈座席はじわじわ倒す、なんなら通路で寝たい…高速バス利用者の本音が詰まった「高速バスあるある」公募結果を発表〉 2017.2.17

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000017.000013379.html>

(10) NHK [covers] 2017.2.20 放映分 リリー・フランキー氏トーク

(稿者注:女性の涙は信用ならない、という話題の中で「どんな人でも嘘泣き出来るじゃん」「女の人が本気で泣くのは、だいたい悔し泣き」「悲しい・嬉しい(の涙)の場合は、どうも眉唾だなと思って見てます」と発言した後、) 例えばホント自分たちの別れ話みたいな時でも、その人(稿者注:別れ話を切り出した相手側男性)を見ている時の目はちょっと厳しい… 蜷川幸雄みたいな(稿者注:睨み付けるジェスチャー)。なんなら灰皿投げつけようかぐらいの。

(11) 移住者ブログ [すごいよ佐賀県] レポート 2017.4.26

〈佐賀に移住して1カ月、「良かったことランキング」を書いてみた〉

住む場所を決めるまでに、東京と佐賀を何往復もしましたが、〈中略〉こんなに安いなら移住の後も気軽に往復できるな～と思いました。佐賀に興味のある方も、ない方も、ぜひ、ふらっと来てほしいな～。ほんと、安いから。居酒屋で飲むくらいこの値段で来れちゃうから。なんなら雲の上で飲むビールも最高だから。

<http://w-saga.jp/report/17001/>

(12) 個人ブログ [なんならパタヤで死んじゃいたい・・・] 2017.5 開設

<http://oicyangogo.blog.fc2.com/>

(13) うわぁドン引き…自分の親ならまだしも配偶者の親だから全く思い入れない

し何なら嫌いだし死んでも遺産入るラッキー程度なんだろうな。 ツイッター・  
2017.5.7 [https://twitter.com/momo\\_nekozane/status/861089550524792833](https://twitter.com/momo_nekozane/status/861089550524792833)

(14) [出版と編集 タバブックス] 連載「t b通信」

〈たかが映画なんだけれども 第1回「たかが世界の終わり」〉 2017.5.7

そうはいつでも面白いと言われれば観たくなり、観たら語らずにはいられない、  
なんなら本気で怒ったり考え込んだりしてしまう。誰にも頼まれてないけど熱く話  
し合う映画対談がこちらです。 [http://tababooks.com/tbinfo/takagaeiga\\_1](http://tababooks.com/tbinfo/takagaeiga_1)

(15) 賃貸物件紹介サイト [戸建て暮らし]

〈たまプラーザ「なんなら私が住みたい」〉 物件取材日 2017.5.12

[goo.gl/KN8rsM](http://goo.gl/KN8rsM)

(16) [声優・田村ゆかりブログ] 2017.5.28 〈ま。〉

だって私、自分の人生振り返ってみても、いいことちっとも思い出せないもん。  
/なんなら今もどん底だし。/嫌なことばかりだし。

<http://tamurayukari-diary.com/?eid=25>

(17) [Goalist Sales Blog] 〈新卒二期、ブログを書く (セールス編)〉 2017.7.7

私の場合、就活は普通にしていたため、とある別の企業さんから内定も頂いてい  
たんですが (なんなら内定式も行った)、そこで「あ、私この会社だとすぐ辞めち  
ゃうかも」と思ったんですよね。なんか違うぞ?飽きちゃいそうって。

<http://sales.goalist.co.jp/entry/2017/07/07/184425>

(18) web マガジンサイト [SOLO LIVING SOLO LIFE]

〈意外と人は他人に興味がない。ならブレずに自分を出していけ/誰に見せるでも  
ない爪〉 2017.7.10



今回は「人の目が気になってしまい、思うように行動できない時があります」という読者投稿。／私も Twitter で何かをツイートする時、いろいろな人が見ていると思うと、言葉を選ぶことはある。昔からの友人も見ている。会社の人も、なんなら 実は父親も見ている。／でも個人的に思うのは、自分が思ってる以上に、人は他人に関心がないということだ。 <https://sololife.jp/article/1417>

(19) ツアー会社〔ニセコウッカ〕 投稿レポート記事〈旭川・知床・網走キャン  
プ旅〉 2017.7.15

知床は夏でもきつと朝晩寒いと思ひ暖かい服装を沢山持って行きましたが活躍したのは船に乗った時だけ。あとは連日30度オーバー。。。／なんなら純平上半身裸でした。 <http://niseko-ukka.com/shiretoko-camp/>

(20) 初心者専門店ダイビングスポーツ〔海屋〕 ブログ 2017.7.15\*4

体験ダイビングもう1組はまさかの同郷、4人組！／なんなら中学の後輩という、オマケ付き！笑 <http://umi-asobi.com/entry-575/>

(21) ブログ〔テトラエトラ〕 〈出世したくない、なんなら退職したい その理由とやるべきこと〉 2017.7.26 <http://tetraetra.com/archives/12102>

(22) 石井ゆかり〔星読み〕 週報 〈2017/8/7-8/13 全体の空模様〉 2017.8.4

今これを書いているのが4日なんですけど／すでに「食タイム」の中にあると言っても過言ではありませんし／なんなら22日の日食のあたりまでずっと食食しい時間帯と言えます。 <http://weekly.hatenablog.com/entry/2017/08/04/193204>

(23) [Oggi] 〈厚底サンダル初体験は【GU】にお任せ | 小林文の賢いプチプラ  
買い〉 2017.8.17

最近購入した“GU”の厚底サンダルをへびロテ中。〈中略〉程よくソールがしな

るので、長時間履いても疲れにくいのもいい！フラットシューズでも、しならないものは脚がむくみやすいし、なんならヒール靴より疲れるものも多い。だから、しなるか否かは大事なポイントです。 <https://oggi.jp/3520>

(24) 株式会社インテリジェンスオフィス メンバーブログ

〈「営業」なんて自分に向かない。なんなら嫌い。〉 2017.8.18

<http://www.io-web.co.jp/blog/?p=788>

(25) [博報堂&博報堂DYメディアパートナーズ 絶対に本音で話さざるを得ない説明会2018] 〈Q 01 「同期より抜きんでてやろうと思って取り組んだことは何かありますか？」〉

(稿者注：「あの仕事はすごく大変だったと思うんですけど、実際どっからどこまでやったんですか？」という問いに対して) 一緒にやろうと彼を誘って。二人で基本的にはメインでやってたって言っていていい〈中略〉彼が資料も全部作って、プレゼンもして、〈中略〉どっちかっていうと僕よりもなんなら彼のほうがやってるかなって気が・・・

<http://h-mp-recruit.jp/2018/hakufes/q1.html> 動画 (1:17 ~)

上には、記事や番組あるいはスレッドなどのタイトル部分に見られた例も多く示したが、これは用例をなるべく端的に示すため稿者が行った挙例の際の選択に帰する部分も大きく、「なんなら」の新用法がこういった標題部に特徴的に現れることの反映ではない。

(3) (10) (25) のような、映像中の発話部分に見られるもの・またはそれに準ずる(口頭でのセリフを描写した部分に見られる)もの、あるいは(7) (8) (11) (13) (16) のように口頭での発話さながらの文体で綴られた、いわゆる「打ちことば」相当の文面中に見られるものが示すとおり、こういった新用法での「なんなら」は、主に口頭で行われる俗語的用法と位置付けられる。一方、(5) (6) (18) (22) のようにやや固い一見書きことばふうの文面にも見出されることから、この

用法の広がり浸透も、ある程度看取される。

挙例にあたっては、類型的な面で代表性の認められるものを選択した。(1)「(自分は)大丈夫」、(2)「(私たちは)何々が好き」、(7)「(12月に入って)7日も経過している」、(8)「米国大統領が厚揚げの厚の字に似ている」、(11)「機上で飲むビールは最高」、(13)「配偶者の親が嫌い」、(17)「(自分が)企業の内定式に行った」、(20)「体験ダイビングの客が中学の後輩だった」など、〈PはQだ〉型の事実や〈XがYした〉型の(実現済みの)事態について述べる文脈で「なんなら」が用いられている。つまりいずれも、前節で確認した申し出や提案のような「未実現」の「行為」について(前もって)言及する従来の用法a~dとは一見大きく異なるのである。

この手の新用法に従った用例は、例えばツイッターでは日々大量に産出されており、実例は枚挙にいとまが無い。その実態を反映して、いわゆるJ-POPの歌詞にも以下のような類例がたやすく観察される。

(26) 寺嶋由芙(てらしま・ゆふ)「夏'n ON-DO」 2017.7.12 リリース  
海へ山へと遊びに行こうよ／朝の早よから蝉たちの目覚まし鳴り響く  
ビキニ姿でスイカ割り／なんならスイカになりたいよ!

(27) つばきファクトリー「就活センセーション」 2017.7.26 リリース  
やるからには勝ち戦で/なんなら歴史変えちまうくらいのセンセーションを起こ  
そう

(28) KICK THE CAN CREW「千%」 2017.8.30 発売のニューアルバム『KICK!』  
収録曲

たとえ誰かに抜かれよーが／余裕に抜くアイデアが生まれそうだ〈中略〉  
俺は 1000% 俺を抜いて 前を向いて なんなら進んでる

(26) は夏の風物を詠み込んだもの（「スイカになりたい」とは、夏ならではの楽しみを満喫し謳歌したいという趣旨か）。(27) はいわば就活生応援歌とでも言うべきもので、厳しい就職活動の重圧や疲弊に共感を示しつつ、それでもやるからには前向きに…と励ます文脈で「なんなら」が用いられている。(28) は、韻文ならではの難解さを少々含むものの、前後の文脈から、「他者との競争（誰かに抜かれる云々）を気にするのではなく、自己との闘い（俺を抜いて前を向いて云々）こそが大切」「フルチャージ（1000%）のパワーで、ひたむきに前へ進め」と訴える歌詞との解釈が可能である（一人称での歌い手自らに対する鼓舞が、聞き手の共感によって聞き手に対する激励へと転じる構造）。いずれも従来の用法と大きく異なることは、先に示した散文における用例と変わらない。

### 3. 一般人によるメタ的な言及

こういった新用法に対する違和感や疑念が反映された記述が web 上に現れることも、ことばの変化の萌芽期についてまわるものであろう。質問掲示板やブログの類からは、日本語の専門家ではない世間一般の人々によって書かれた新用法に関する質問やこれを誤りとする指摘などが、例えば以下のように拾える。

(29) [Yahoo! 知恵袋] 2011.12.11

なんなら、この中で一番〇〇な事言ってます。/なんならの使い方違いますか？ [https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\\_detail/q1377182923](https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1377182923)

(30) [2ちゃんねる] スレッド〈最近「なんなら」の使い方間違ってる奴多くないか?〉 2014.11.09 <http://vipер.2ch.sc/test/read.cgi/news4vip/1415496575/>

(31) [Yahoo! 知恵袋] 2014.11.17

「なんなら」の意味教えて下さい/なんならもう既に…とはどういう意味でしょ

うか？ [https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\\_detail/q10138310045](https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q10138310045)

(32) [Yahoo! 知恵袋] 2016.2.27

関西弁？で“なんなら”ってどういう意味ですか？私の出身地では使いません。  
／“なんならこちらの方が欲しくなった”と言われました。

[https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\\_detail/q11156375326](https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q11156375326)

(33) [gtitter] 2016.11.8

なんならの使い方おかしい人ってなんなの？ <http://gtitter.com/t/4107384>



(図1)

管見に入った最も早い指摘は(29)、2011年に遡る。既にこの頃には新用法が広がりつつあったものと見られる。それ以来、新用法についての指摘や質問は影を潜めることなく断続的に行われて来たと見てよい。(32)は先に示したe願望「なんなら～たい」の一種と位置付けられ、「なんなら～が欲しい」の変形と考えられる。eの用法は、BCCWJにはわずか2例ながらすでに用例が見られたものであるが、これもまた新用法寄りの使われ方と見てよいのではないか。質問者が違和感を示し関西あたりの地域方言かとしつつ意味を問う書き込みをしていることから、やはり申し出や提案のような従来の用法からは外れるものとしてよいと考えられる。BCCWJの2例は、むしろ新用法の一部が萌芽的に観察されたものと捉えることが出来よう。(33)の「ぐちったー」は、ツイッター同様マイクロブログと呼ばれる

ごく短い発言を発信する媒体であるが、その名称のとおり愚痴などのネガティブな独り言を匿名でつぶやく場として提供されるものである。新用法への違和感を抱きつつも、どこがどう違うのかを明確に指摘することが出来ないまま、漠然としたもやもやを愚痴というかたちで吐き捨てたこのつぶやき(図1)は、新用法そのものよりもその使用者のほうに腹立たしさを向けている点において、「なんなら」の変異に立ち会う同時代の日本語話者の本音(ある種の苛立ちや嫌悪感)が垣間見られて、興味深い。

そこからさらに踏み込んで、新用法の意味するところを自分なりに解釈し別の表現に置き換えて分析的に述べようとする書き込みもまた、以下のように散見される。

(34) [Yahoo! 知恵袋] 2016.4.10

芸人が「なんなら」の意味を取り違えて使っていることに最近気がつきました。／「ひょっとすると」の意味で使ってませんか？／同じように感じている人はいますか？ [https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question\\_detail/q11158038376](https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q11158038376)

(35) [アメブロ] 2016.11.21 <「なんなら」の謎と正しい使いかた>

どうも間違ってる人たちは「かえって」とか「むしろ」とか／または「さらに」「加えて」という感じで使ってるようす／共通するのは「前の状況より増してる」イメージ <https://ameblo.jp/cavy-do1010rain/entry-12221513939.html>

(36) [発言小町] 2017.7.18 <「なんなら」という言葉の使い方>

どうも見かけた時に注意深く文脈を探ってみると、「その上」あるいは「ましてや」などの意味で使っているのではないか？と思われるのですが、こういった用法はあるのでしょうか？それとも方言でしょうか？

<http://komachi.yomiuri.co.jp/t/2017/0718/811935.htm>

(35) は、先行する記事の続編に当たる(同じブログの主がこの一年以上前に「とて

も気になる言葉遣い」として「他人が読むとそうとれるのか。なんなら、自分のことはどっちかといえば、ポジティブだと思っていたのですが」という用例を取り上げ「流行語の類かと思ってネット検索しましたが、現状 完全に誤用。ネットでも指摘の対象」と綴った<sup>\*5</sup>のを受けてのもの。(35)における「かえって」「むしろ」への置き換えは、「Aと思ったら、かえってB」「Aというよりは、むしろB」の構造を内包する用例(3)(5)(13)のような用法に対するものと見られ、この手の「なんなら」は、前提されるAから「そむき離れる」意味を表すということで、以下、仮に「叛戻」の意味と呼ぶことにしたい(いささか苦し紛れの名付けではあるが、一旦Aと言っておきながらそれにそむき、Aとは正反対のAに当たるBへと揺り戻すようなもの言いであることを踏まえて、仮にこう呼ぶ)。一方、(35)における「さらに」「加えて」への置き換えは、用例(2)(6)(10)に見られるような「累加」の意味を汲んでのものと同視され、次の(36)における「その上」「ましてや」がこれと同じ見解となる。(34)の「ひよっとすると」は、これらとはまた異なる用法を捉えたものと見られ、用例(1)(18)(22)のような、「可能性を提示」するかたちで実現済みの事態について「起こり得る展開」や「あり得る解釈」などを述べる場合のものを指していると考えられる。(29)(31)の質問者が示す例文にも、この言い換えが適用できよう。

一般人によるこれらのパラフレーズ案は、新用法での用例を複数見聞きした上でそれらから帰納的に導き出された言い換えであると見られ、該当する個々の事例に照らしても、特段間違いとは言えない。しかし、そのような言い換えが可能だとすると、これら「叛戻」「累加」「可能性提示」の意味は、「なんなら」における従来の意味と相当な乖離を来していると言わざるを得ない。新旧の用法にはまるで接点が見出されず、両者に通底する共通項も取り出せないことになる。出自や成立の経緯が異なるなど完全に接点が無いにもかかわらずたまたま同形であるような場合には、それを検証した上で別語と認定することになるだろうが、新旧の「なんなら」は完全に無関係とただちには断定できない。よって本稿では、上に示した言説とは異なる観点から、両者の関わりについて分析を試みることにする。

#### 4. 本稿でのパラフレーズ案

本稿では、第2節に並べたような新用法での用例とその実態を踏まえ、以下のようないき換えによって考察を進める。第1節において述べたように、従来の「なんなら」が条件節的な意味構造を内包しつつ（省略によって節ではなくなることで）条件句として用いられるのに即して、新用法についても可能な限り条件句での言い換えを試み、その結果、実際の用例に照らして以下のような3種類のカテゴリを立てた。それぞれ複数の言い換え表現を挙げてみる。（ ）内は、より平易な口頭語的表現である。

- (ア) なお言えば（ついでに言うと）、あえて言うなら（言わせてもらえば）
- (イ) ややもすれば、ともすると
- (ウ) 下手すると、放っておくと、油断すると

具体的な個々の用例を観察すると、(ア)～(ウ)はいずれも前文脈を受けつつさらに展開する言説の前置きとして用いられる点で、しばしば「あまつさえ・のみならず（それどころか）」という含意を文脈的に帯びる。前節に見た一般人（非専門家）の言及における累加用法との指摘は、これに対するものとしてたしかに了解できる。これと、(ア)～(ウ)それぞれの意味を組み合わせたものとして、新用法での「なんなら」は解釈可能となる。

(ア)～(ウ)の違いを説明するなら、(ア)が話し手の言表態度に関わる用法であるのに対し、(イ)(ウ)は言表事態に関わる用法である。(イ)(ウ)はともに(ア)と同じく累加的な含意を有するが、(イ)は事態に関わる叙述の累加、(ウ)は時間の進行に従った事態のエスカレートをより強く示すもの。(イ)は、述べようとする事態の累加であるとともに、その事態についての叙述の累加でもあり、その点においては言表態度と言表事態の双方に関わる中間的な用法と言える。

先に示した用例のうち、(ア)に示した語句のいずれかで言い換えが可能なの



は、(2) (5) (6) (7) (8) (10) (11) (13) (16) (17) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (27) (28) (29) (31) (32) の用例におけるそれぞれの「なんなら」である。同じく(イ)での言い換えが可能なのは(3) (4) (5) (7) (8) (10) (13) (14) (18) (21) (23) (24) (25) (27) (28) (29) (31) (34)、(ウ)で言い換え可能なのは(1) (4) (5) (6) (7) (8) (10) (13) (14) (18) (25) (27) (29) (32) (35) となる。

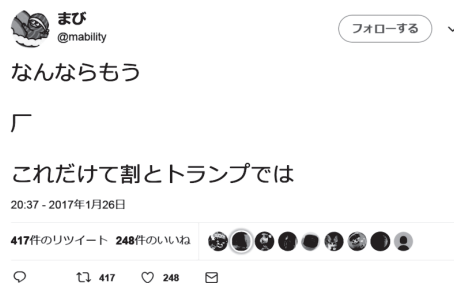
この(ア)～(ウ)は、相互排他的に鼎立する「用例の分類先」としての項目ではなく、新用法「なんなら」の意味を構築する意義素のような成分として扱われるものである。個々の用例からその意味成分を取り出すことによって、新用法同士の間、あるいは新旧の用法の間に相互の関連性を見出そうとする試みであるため、意義素は各用例においてしばしば重層的にタグ付けされる。いま上に示したとおり、一つの用例が(ア)～(ウ)のうち2つ以上の要素(場合によっては3つとも)を兼ね備えているケースも稀ではない。以下にその具体例をいくつか示す。

(5) は、ブログのエントリータイトルにあるとおり、ポケモンGOの流行を機に、幼い頃に当時流行していた元祖ポケモンゲームに興じることがなかった理由を振り返る内容である。妹に対する思いやりを欠いた兄が、ゲーム機を貸してくれることがなかったばかりか(あまつさえ・のみならず)、平素からの傾向として(ややもすれば・ともすると=(イ))妹に搾取的な態度を取り、実際に機会があれば(下手すると・油断すると=(ウ))妹の大切なものを取り上げるような暴君であったことを、回想の文面にカッコ付きで(なお言えば/あえて言うなら=(ア))付け加える文脈に、それぞれの意義素が認定できる。

(8) は、「時の米国大統領が、その風貌から厚揚げに似ている」という話題がツイッター上で反響を呼び、まとめサイトにおいてタイトルに採用されたもの。厚揚げ(の現物)に似ている、とする指摘に始まり、「厚」の字だけでも似ている、見ようによっては書き出しの「厂」(がんだれ)だけでも(髪型を想起させて)彼に見える…と見立てがエスカレートしていくおふざけの中で、「なんなら」が繰り返し使われている(図2、図3)。



(図2)



(図3)

「悪ふざけついでになお言えば／失礼な見立てながらあえて言うなら＝(ア)」とばかりに連投されるツイートは、「下手をすると＝(ウ)」現物どころか(あまつさえ・のみならず)「厚」の字にも似ており、それどころか(ややもすれば＝(イ))「厂」(がんだれ)にさえ似ているような気がしてくる…といった具合に、(ア)～(ウ)の要素を含んでいる。

(13)は、「父の死をSNSに投稿した夫が許せない」と憤慨する新聞記事に対する意見として発信されたつぶやきである。冒頭に驚愕と嫌悪(「うわぁドン引き…」)を示して元記事の投稿者に共感しつつも、その一方で、葬儀の様子を無邪気に写真に収めてSNSに投稿し反応を得て喜ぶなど無神経な振る舞いに及ぶ夫の気持ちについて、客観的な分析を踏まえて推測し、冷静な理解を示している。実の親の死を肉親として悲しむ気持ちに比して、配偶者の親の場合はいわば他人事で思い入れなどない、という事柄に加えて(あまつさえ・のみならず)、「なお言えば／身も蓋もないことと言いつらいが、そこをあえて言うなら＝(ア)」と前置きした上で述べられる内容が、義父母などというものは、多くの場合にありがちな傾向として(ややもすれば・ともすると＝(イ))、よほどふだんの付き合いに気を遣い合っとうまくやらない限り(下手すると・油断すると＝(ウ))嫌いなのだ、という文脈を伴っており、ここに(ア)～(ウ)の要素がやはりいずれも認められる。これらの要素によって総合的に構築される文脈的含意を、「なんなら」は一言で端的に表すと言ってよい。

## 5. 用法の関連性についての考察

多岐にわたる意味を担う新用法の「なんなら」において、上に示した意義素は相互にどう関わり、また従来の用法とどのようにつながるのか。さまざまな文脈での使用に通底する構造的な共通項は、いったいどのようなものだろうか。

(ア) の言表事態に関わる用法は、(2) (5) (16) (19) (24) などに顕著なように、言うべきか否かの逡巡を漂わせながら「言っているなら～だ。」と思いついて述べる点で、「なんならハッキリ言っちゃいましょうか？」という従来の申し出型と意味的に連続する可能性が考えられる<sup>\*6</sup>。あるいは、(13) (22) (25) のように、ひとことでは言えない複雑な話をあえて簡略化しようとして「場合によってはこうとも言える」と言いなす際の前置きとしても使われることから、条件表現に立脚する用法と言える。(イ) (ウ) の場合は、「状況次第では・場合によっては、(しばしば) ～する・～になる」という、何らかの前提条件に基づく事態の展開に言及する点で、やはり従来の用法との共通性を見出すことが出来る。

「場合によっては」「許されるなら」という前提のあり方の最も端的な発露は、「許されるなら～したい」と文末に「たい」を伴い願望を述べる e であろう。先に示した用例のうちこれに該当するのは (9) (12) (15) (21) (26) であるが、これは先に第一節において触れた BCCWJ の検索結果 (99 例中 2 例) に比して明らかに増加している。いち早く現れ細々と引き継がれたこの用法が、新旧の「なんなら」を橋渡ししながら勢力を増して新たな用法拡張の火種となった可能性は考えられてよいかもしれない。いずれにせよ「なんなら」の新用法 a～e すべてについて、後部構成要素「なら」が担う条件表現的機能が引き継がれていることは重要であり、これが新旧の各用法にまたがる根底的な共通項と位置付けられることはたしかであろう。

なお、「累加」と「叛戻」の関係性については、以下のように考察される。先に述べたとおり「前文脈を受けつつさらに展開する言説」において新用法の「なんなら」は使われるが、前文脈と後文脈とが意味的に順接相当のつながりを持つ場合

に「累加」の含意が備わるのに対し、逆接相当の後文脈が続く場合には「叛戻」の含意が前面に出ることとなる。先に示した用例の(10)「(兄が)ゲームを貸してくれることがない」、(13)「義理の親の死に対しては思い入れがない」のような否定表現に続く「累加」は、内容的には肯定表現に対する「叛戻」と同じである。つまり、(10)については「A(ゲーム機を貸してくれる)どころか、 $\bar{A}$ (貸してない)であり、さらにそのうえ、B(妹から略奪までは)

(13)については「A(思い入れがあって悲しみに暮れる)どころか、 $\bar{A}$ (思い入れなくけろりとしている)であり、さらにそのうえ、B(嫌い、遺産が入ってラッキーくらいに思う)である」という構造を取る。この「Aどころか $\bar{A}$ であり、さらにそのうえBである」において、Aに対するBは逆接的な関係で「叛戻」となるが、「～ない」を伴う否定表現によって示された $\bar{A}$ に対しては、Bは順接的な関係を構築し意味的には $\bar{A}$ の延長線上に位置することとなって「累加」の解釈がなされる。否定を伴わない「累加」の「Aどころか、さらにB」「Aのみならず、加えてB」と、否定( $\bar{A}$ )を介して「Aと思ったら、かえってB」「Aというよりは、むしろB」となる「叛戻」が、同じ「なんなら」によって表されるのは、この構造によると考えられる。先に「叛戻」に該当するとした(3)「気づいていなくて」も同様であろう。

新用法の「なんなら」を以上のように分析することで、新用法同士の間連性ならびに従来の用法との連続性が説明できる。繰り返せば、新旧の用法に共通するのは「場合によっては」「状況が許すなら」という条件表現そのままの意味であり、そのように眺める時、従来の用法に対して大きな乖離を来しているかに見える新用法も、やはり別語ではなく連続性を伴った用法展開として理解することになる。新旧での決定的な違いは、(話し手・聞き手の「行為」について予め言及するか、実現済みの「事態」について述べるかの違いもあるが、)新用法においては「聞き手の意向」(への尊重)がほとんど含意されないことであろう。従来の用法がある種のやわらげやぼかしを伴う配慮表現(ポライトネス)の一種であったのに対して、新用法は必ずしもそうではない<sup>\*7</sup>点で、馴染みのない非使用者層にとっては強い違和感を感じ

させるものとなっていると言える。

## おわりに

以上、本稿では、「なんなら」が、辞書に記述される従来の用法と大きく異なる新たな用法で近年盛んに用いられているという現象の指摘と、用例の実態に関する記述を行い、またそれらの分類・分析を通じて、従来の用法との異同について考察した。

学術的な立場からの言及や分析に先駆けていち早く一般人により繰り返し指摘されるなど、「なんなら」の新用法は既に変化の「突端」でも「兆候」でもなく相当な広がりを見せつつある。後出しのようではあるが、実は最も萌芽的な使用の形跡は、早く 2005 年のものとして次のような用例が BCCWJ の検索結果に見出される。

(37) Q：朝からお酒を飲んでいる人、夜は飲まないで寝るんですか？

A：夜は驚くほどにシラフです。なんなら、就職の面接にも行けるほどに。

〔Yahoo! 知恵袋〕 2005 年（BCCWJ より）

「なんなら（行けと言われれば）、面接にも行けます（行きます）よ」という従来の用法にほど近い物言いをふまえた変種として解釈することも出来よう。その一方で、「シラフです」に累加的に続く部分の前置きに現れるこの「なんなら」は、(ア) (イ) の要素も含んでおり、また、「なんなら…行けるほどに」という程度性に関する修飾表現として成立している点で、先に見た用例 (10) 「なんなら…投げつけようかぐらいの」や (27) 「なんなら…変えちまうぐらいの」とも通じており<sup>\*8</sup>、新用法の先駆けと見ることも可能である。先には、新用法展開の経路について e の願望表現からの拡張という可能性を考えたが、一方でまたこの (37) のような中間的な用法からの発展という経路も想定され得る。同時多発的にそれら複数の経路を経て新用法が展開したと見ることもまた出来よう。ごく当初の段階では、あえて

の逸脱的な使用に端を発する流行語のような性格もあったかもしれない。いずれにせよ、遅きに失した感は否めない。冒頭に触れたとおり、言語変化の突端となる今日的な動向は、こういった扱いの困難を押しして積極的に取り上げられる価値を持つ。一見、卑俗に見える若年層のことは遣いであろうとも、それは変わらないはずであるとの認識から、本稿を急ぎ著した。「何が何なら」という構造の条件節に由来する「なんなら」における意味用法の変容は、別稿において扱った「あり得ない」「なし得た」などの意味変化（島田 2014）<sup>\*9</sup> と同じく「条件表現にまつわる今日の変化」という観点から、ひとつのカテゴリを与えられるものでもある。

- 
- \*1 島田（2014）では、一例として上一段活用動詞における五段化の動向を示した。
- \*2 この分類に該当しない用例として、方言らしき発話中の（意味が取れない）もの 1 例、その他いずれとも異なるもの 2 例があった。
- \*3 うかうかして予想以上に月日が経過していることを指す文脈での使用。類例として、以下のような用例が得られた。  
〔ガシャポンワールド〕公式サイト 仮面ライダーブットバソウル 開発者ブログ〈開く 秘密〉  
2017.7.23  
7月です。／なんならもう下旬です。／ブットバソウルは 2016 年 8 月にスタートしたコンテンツなので、もうすぐ 2 年目に突入します。 <http://bs.gashapon.jp/blog/>
- \*4 人間関係の説明に、同郷であることを挙げた上で、さらに同窓であることに言及する文脈での使用。類例として、日付不明ながら次のような用例が得られた。  
バンド「UNITE」公式サイト 対談記事  
dettoさんとLiNさんはどういったお友達関係なのでしょうか？〈中略〉実は地元が一緒なんです。ふたりとも町田出身で、なんなら通ってた学校も一緒なんです。学年は重なってないんですけど、共通の友人も多くて、「地元で先にバンドをやっていたお兄さん」という存在でした。  
[http://www.unite-jp.com/6th/interview\\_08.php](http://www.unite-jp.com/6th/interview_08.php)
- \*5 〈日本語の使いかた - 「なんなら」〉2015.7.24  
<https://ameblo.jp/cavy-do1010rain/entry-12053708319.html>
- \*6 2017 年度 3 年ゼミ生からの指摘によると、新用法利用の当事者である若年層の直感では、(ア)の「なんなら」は「ぶっちゃけ〜だ」という表現にきわめて近いと言う。一方、この用法に初めて触れた中高年層（日本語学の専門家）からは、「端的に言えば…」に近い意味ではないかとの指摘を受けた（付記に示した口頭発表の質疑応答における意見）。
- \*7 ただし新用法での「なんなら」にも、ポライトネスに近い要素は皆無ではない。前文脈に加えてさらに（余計な？ことを）言い添えるに当たっての話し手のモーダルな側面（ためらい・思い切り）を含みつつ、「ハッキリ言っちゃいましょうか？」「これ、言っちゃってイイですか？」と聞き手の顔色をうかがい反応を探りながら切り出す前置き表現と見るなら、そこにはなお聞き手の意向に対する尊重や相手へのある種の配慮は認められてよいことになる。
- \*8 (4)「なんなら全種類買う勢い」も、それに準ずるもの。なお、本稿の副題は、それらの用法を実践してみたものである。
- \*9 (ア)の「なんならこうとも言えるかもしれない」、(イ)(ウ)の「なんならこうなってしまうかねない」などといった、可能性（としての、さらなる事態の展開・またはそれについての叙述の展開）を述べる前置きとして用いられる「なんなら」は、まさにそれ自身が条件表現に由来することばであることと、根深

く関わりを持つ。可能性というものじたい、本質的に「場合によっては」「状況次第では」という前提条件のもとで実現し事態として出来るものであり、〈条件―帰結〉の構造を内包する以上、言語表現にもそれが反映されやすい。別稿では、「あり得る」「起こり得る」などの「～得る」における用法変化とともに、「なし得た」の語義変化について、森山（2002）の記述に基づいて以下のように述べた。

特殊な条件下で出来た異常な事態に対しては、それが通常の可能性に反して実現済みである以上、事態成立の可能性に関わる背景的な部分に言及せざるを得ない。それが、「あり得ない」の前に「本来ならば……」「通常の状況下では……」と置かれる（はずの）条件句部分であり、その前置きを欠いて用いられる「あり得ないことが起こってしまった!」「あり得ない頼みごと（をしてくる相手の厚かましさに、腹が立った）」「なにそれ。あり得ないよ」などの用法から、「信じがたい・あってはならない」の含意を介して「受け入れがたい」「許容したくない」「拒絶したい」という新たな語義が成立したと考えられる。〈中略〉「なし得る／なし得ない」（可能性～潜在系可能）や「なし得た／なし得なかった」（実現系可能）についても、いま述べた「あり得る／あり得ない」同様、語義のズレや誤解の背景として、条件句の欠落という契機を想定することは可能であろう。（島田 2014：48-49）

条件句を欠落させ帰結相当部分のみが独り歩きすることで語義に変容を来した「あり得ない」「なし得た」とは逆に、「なんなら」の語は、条件句由来という本質を敷衍的に引き継ぐことで、用法を抜け語義を一変させたと言えよう。類例が存在するかも含め、全容を捉えるために今後も継続的な観察が必要となろう。

#### [参考文献]

- 島田 泰子（2014）〈何事かをなし得た人〉に見る、言語変化の一兆候：補助動詞〈～得る〉の意味変化（国立国語研究所共同研究プロジェクト「現代日本語における新語新用法の研究」研究成果報告書）  
 森山 卓郎（2002）可能性とその周辺 ―「かねない」「あり得る」「可能性がある」等の迂言的表現と「かもしれない」―（日本語学 21-02）

#### [付記]

本稿は、科研費（基盤研究C）「近現代の新語・新用法および言語規範意識の研究」（課題番号：16K13228）の成果のひとつであり、2017年8月31日に京都府立大学にて行われた成果報告のための研究発表会における口頭発表に基づく。席上さまざまなご指摘ご助言を賜った。十分反映できなかったが、御礼申し上げます。

